

# 桐生市男女共同参画計画（平成28年度～平成32年度版）

## 平成28年度実施状況について

桐生市では、「桐生市男女共同参画計画（平成28年度～平成32年度版）」に基づいて、76施策、119事業を展開しています。計画の初年度である平成28年度の実施状況については、平成29年度に各課の自己評価をもとに「実施状況報告書」を作成し、桐生市男女共同参画推進協議会等において協議を行いました。本書は、その概要についてまとめ、市民の皆様に公表するものです。

### 基本目標Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり

#### 1 社会制度や慣行の見直し

多くの人が男女共同参画の考え方について正しく理解し、日々の暮らしの中で実践していくきっかけを作るため、各種セミナーの実施や情報提供を行いました。また、平成28年度から、すべての職員が男女共同参画の視点をもって事業展開ができるよう、新採用職員を対象とした研修を開始しました。引き続き、男女問わず誰もが参加しやすいセミナーの企画や積極的な情報発信に努めてまいります。

#### 2 男女共同参画の視点に立った教育の推進

大人たちの考えの影響により、子どもの未来が固定化されることのないよう、大人たちが積極的に男女共同参画について理解し、子どもとともに考える機会を提供するための授業や研修、講座などを実施しました。概ね計画どおりの事業実施となりましたが、一部の出前講座で、実施希望がなく、開催回数目標を下回ったものがありました。引き続き、積極的に周知を図るとともに、ニーズの把握を十分に行いながら実施してまいります。

#### 3 人権の尊重

男女共同参画社会の基本でもある多様な生き方の尊重や人権文化の定着を図るため、啓発活動や人権相談を実施しました。女性が相談しやすい環境を整えるなど、人権相談窓口が有効活用されるよう、さらなる周知を実施してまいります。

## **基本目標Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画推進**

### **1 男性にとっての男女共同参画の推進**

男女共同参画の推進は、女性の活躍を後押しするだけでなく、男性にとっても暮らしやすい社会の実現につながるものであるため、男性に取り組みの理解を促すための啓発等の事業を実施しました。平成 28 年度は男性向けセミナーの実施と、事業所における「男女共同参画推進委員」の設置啓発ができなかったため、平成 29 年度以降、順次実施してまいります。

### **2 政策・方針決定過程への女性の参画拡大**

長年男性中心で進められてきた政策や方針決定の過程において、多様な人材の視点を十分に反映させていくため、市の関係組織、事業所、地域における女性の登用や参画の推進・啓発を実施しました。しかしながら、各分野において女性参画はまだまだ不十分であり、市の各種委員会等における女性の割合については 21.4%と、目標値である 30%を下回る結果となっています。市の管理職への登用等も含め、さらに積極的に取り組んでいくことはもちろんですが、皆様が所属されている組織においても、1 人ひとりがその意義を理解し、根気強く取り組んでいくことが重要です。

### **3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現**

すべての男女が、仕事・家庭生活・地域活動等の調和を図ることによって、多様な生き方を選択・実現できるよう、働き方に関する啓発や就業支援、子育て支援にかかわる事業を実施しました。概ね計画どおりの事業実施となりましたが、より積極的な情報収集、発信や利用者ニーズを捉えた支援に取り組んでまいります。

## **基本目標Ⅲ 男女がともに安全安心に暮らせるまちづくり**

### **1 女性や子どもに対するあらゆる暴力の根絶**

配偶者や恋人等によるドメスティック・バイオレンス（DV）や職場におけるハラスメントなど、あらゆる暴力について理解し、正しく対処することができるよう啓発を行うとともに、被害者に対して必要な支援を適切に実施できるよう各課や関係機関と連携のもと取り組みました。一部、関係機関等への周知が不十分となった項目もあったため、適切な周知を徹底するとともに、さらなる支援体制強化に取り組んでまいります。

## **2 男女共同参画の視点に立った防災体制の確立**

防災に関する様々な施策や活動に、男性だけでなく女性の視点も広く反映されるよう、防災計画の見直しや女性消防吏員・団員等の登用、活躍推進に取り組みました。概ね計画どおりに事業が実施されましたが、依然として女性の参画が少ない分野であることから、継続的な取り組みが重要です。

## **3 生涯にわたる健康づくり支援**

生涯にわたって健康で充実した生活を送ることは、男女共同参画社会実現のための最も基本的な要件といえます。すべての市民がライフスタイルに応じた健康づくりに主体的に取り組むことができるよう、さまざまな健康教育や健康診査、スポーツイベントや講座などを開催しました。概ね計画どおりに事業が実施されましたが、がん検診の受診率等が下がり、目標に届かなかったため、各種がん検診のさらなる周知徹底を図ってまいります。また、男女共同参画の視点をもって、男女がともに参加しやすいような講座等の実施を継続してまいります。

## **4 支援を必要とする男女が安心して暮らせる環境づくり**

家族形態、年齢、ハンディキャップ、国籍の違いの有無等にかかわらず、ともに助け合いチャレンジしていける環境を目指して、それぞれの状況に応じた各種支援を実施しました。引き続きニーズの把握を行いながら、適正な支援を実施してまいります。

**男女共同参画社会の実現には、家庭、職場、地域などあらゆる日常の場面において、一人ひとりがほんの少し意識を変えて、主体的に行動していくことの積み重ねが重要と考えています。**

**今後も計画に基づいて様々な事業を展開してまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。**